

TOP



NEWS-2

福岡県トラック協会女性協議会
令和5年度通常総会 開催状況

新体制スタート!

「2024年問題」へ女性ならではのアプローチを

福岡県トラック協会女性協議会(永山美由紀会長)は、6月24日(土)、福岡市博多区のオリエンタルホテル福岡にて、令和5年度通常総会を開催しました。会員14名中、11名が出席し、令和4年度事業報告・収支決算報告、及び令和5年度事業計画案・収支予算案等について審議が行われ、いずれも原案通り承認されました。

また、任期満了に伴う役員の選任が行われ、新会長に大村さつき氏(さつき運送㈱・専務取締役)が就任しました。副会長は、西尾亜希氏、川内和恵氏が留任、新たに上田由美氏(尚東福産業・取締役)が選任されました。

来賓として、福ト協の木村正昭副会長、仲聡副会長、福岡県トラック青年協議会より古賀大輔代表幹事、増田貴徳副代表幹事・松本晋副代表幹事が出席しました。

冒頭、永山会長は、「女性協議会は設立10年目を迎えた。昨年度は、自粛していた活動を少しずつ取り戻し、九州ブロック女性協議会の研修会も鹿児島県での現地開催となり、福岡からも多数参加して交流を深めることができ、充実した1年となった。運送業界を取り巻く環境は、2024年問題を抱え、多くの事業者が厳しい状況に直面している。女性特有の思考や感性をもってアプローチしながら、会員一致団結してより一層努力していきたい」と挨拶を述べました。

第1号議案では、令和4年度の事業報告及び収支決算報告、佐伯監事による監査報告が行われ、余剰金処分(案)が承認されました。

4年度は、轉變しと一との岩本初恵氏を講師に迎え、当協議会以外の県ト協会員も招いて、研修会を開催したほか、トラックの日記念イベントへの参画、青年協議会主催の交通安全街頭活動への参加など、積極的に活動を展開しました。また九州ブロック研修会に多数参加し、九州地区の女性部と協働を図ったほか、全ト協女性部会の研修会に出席、管理監督職の資質の向上や運送業界の諸課題に取り組むための知識を深めました。

第2号議案では、令和5年度事業計画(案)及び収支予算(案)について説明が行われ、承認されました。

令和5年度は、未加入の女性経営者に積極的な加入促進を行い、組織の拡充強化に努めること、全ト協女性部会の会議や他地区女性経営者組織との交流会等を通じ、ネットワーク拡充に努めること、九州ブロック女性協議会の研修会や会議に参加し、業界を取り巻く諸課題に取り組むこと、交通事故防止活動や県ト協トラックの日記念行事に積極的に参加することなどを重点項目とした施策を推進する方針です。

第3号議案では任期満了に伴う役員の選任が行われ、承認されました。新会長に選任された大村氏は、「自分ひとりの力では何も成し遂げられない。足を引っ張らぬよう、皆様のご協力をいただきながら、女性協議会を発展させていきたい」と挨拶しました。

最後に、来賓を代表して木村副会長と古賀代表幹事が挨拶を行いました。

木村副会長は、「皆様にはこれまで引き続き、女性特有の感性、思考、創造性を活かし、業界の発展、社会的地位の向上にご尽力いただきたい。運送業界の厳しい状況を打開するためには、適切な取引価格への転嫁、物流のさらなる効率化を進めていく必要がある。6月2日、'我が国の物流の革新に関する関係閣僚会議'において「物流革新に向けた政策パッケージ」が策定された。内容は、荷待ち時間削減、適正運賃収受などを含む、高償行の見直しや物流の効率化、荷主・消費者の行動変容を施策として、即効性ととも持続的な取り組みを行うものである。会員の皆様には標準的な運賃の届出の次のステップとして、荷主への交渉をお願いしたい」と語りました。

古賀代表幹事は、「青年協議会の活動は、若手経営者・後継者の資質の向上を図り、研修会や他県との交流を開催し、会員相互のつながりを強化することである。また小学校などで、社会科物流交流授業を行っている。女性協議会の皆様とはお互いに協力し、運送業界を盛り上げていきたい」と述べました。



(永山会長)



(大村新会長)